

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-01		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	文化振興事務費		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田		
			担当者名	尾嶋	内線	2522		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	事務費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 62	（ 1987 ）	年度	根拠	西日暮里ギャラリー運営要綱			
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	区民が芸術文化に触れる機会の拡充を図るとともに、地域の文化資源の発掘と積極的な情報発信を進める。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	①芸術文化振興プラン：平成30年度3月に改定したプランに掲げた施策を着実に推進する。 ②ディスカバーあらかわ：太平洋美術会、荒川区美術連盟と連携して区内の風景・風物をテーマとした作品を展示 ※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止 ③西日暮里ギャラリー：西日暮里駅高架下の展示スペースを区民等に貸出（6か所、原則2週間） ④太平洋展：太平洋美術会が主催する太平洋展で優秀な作品2点に区長賞を授与※新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度の開催を中止。3年度は区長賞を含め審査は実施されたが展示・授賞式は中止。 ⑤JOBANアートライン協議会：常磐線沿線地域の活性化を図っていくことを目的とした協議会で、アートワークショップ等を開催 ※新型コロナウイルス感染症の影響を受け令和2・3年度は事業を縮小 ⑥西日暮里駅前地区再開発事業における文化交流施設：整備のための検討会を実施し、整備基本方針策定							
経過	①芸術文化振興プラン：平成21年6月策定、26年6月（第二次）改定、31年3月（第三次）改定、令和5年度（第四次）改定予定 ②ディスカバーあらかわ：平成7年度より太平洋美術会の協力で実施。17年度から荒川区美術連盟の協力も得て一般公募形式で募集。19年度からは、絵画以外に版画・染織・彫刻の出品も可とした。 ③西日暮里ギャラリー：平成9年度に道路課が高架下の修景事業として設置。維持管理は土木管理課、運営は文化交流推進課 ④太平洋展：平成9年度から、太平洋展にて荒川区長賞を授与している。 ⑤JOBANアートライン協議会：平成18年協議会設立総会開催。平成29年度10周年記念シンポジウム開催 ⑥西日暮里駅前地区再開発事業における文化交流施設：「遊ぶ」「学ぶ」「繋がる」の3つの要素をもとに施設のコンセプトを定め、施設に求める機能及びゾーニングイメージ等をまとめた。							
必要性	芸術を鑑賞したり、自ら芸術文化活動を行うことは、区民の生活をより豊かにすることを可能にするものである。こうした地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） ①推進会議の開催。②一般公募したものを展示し、優秀な作品に賞を授与。③申請を受け内容を審査。 ④太平洋展の初日に授与。⑤負担金を支出。⑥検討会議の開催。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	ディスカバーあらかわ区民応募率(%)	0	0	54	60	65	2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。
	②	ディスカバーあらかわ応募点数	0	0	100	110	150	2・3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度	6年度							
推進	推進	地域の文化振興への取組は、区の重要な役割であるため、推進する。						

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額	9,409	10,884	6,532	25,857	6,136	10,753	28,563
決算額 (5年度は見込み)	7,792	9,345	2,325	1,156	2,418	2,067	28,563
実績の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)							
西日暮里ギャラリー展示件数	29	32	41	22	32	26	30
ディスクカバーあらかわ応募点数	109	95	100	-	-	100	110
文化活動支援事業交付件数 (公演数)	-	-	-	19	11	-	-

令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	芸文推進委員謝礼、検討会報酬	920	報償費	芸文推進委員謝礼、検討会報酬	640	報償費	芸文推進委員謝礼、検討会報酬	337
旅費	職員旅費	22	旅費・需用費	職員旅費、区長賞記念品、事務用品他	593	旅費・需用費	職員旅費、区長賞記念品、事務用品他	1,968
需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代他	539	役務費	サイン清掃費等	178	役務費	サイン清掃費等	161
役務費	サイン清掃費等	247	委託料	PCR検査費	18	委託料	運営形態調査委託等	25,438
使用料等	検討会会場使用料	33	使用料等	ディスクカバー付帯設備等	161	使用料等	ディスクカバー付帯設備等	173
備品購入費	動画撮影機材等	84	備品購入費	部備品購入費	77	備品購入費	部備品購入費	80
負担金等	JOBAN負担金、文化芸術活動支援補助	573	負担金等	JOBAN協議会負担金	400	負担金等	JOBAN協議会負担金等	406

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	18,074	13,164	▲ 4,910	地方税等	0	0	0
	物件費	850	947	97	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	75	79	4	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,493	1,040	▲ 453	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	740	740	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,598	753	▲ 1,845	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 23,830	▲ 16,723	7,107
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	23,830	16,723	▲ 7,107	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 23,830	▲ 16,723	7,107
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 23,830	▲ 16,723	7,107	

備考 行政費用のうち物件費は、新型コロナの影響で中止していたディスクカバーあらかわを4年度は再開したため、増加した。また、西日暮里駅前再開発事業における検討会回数減(6回→5回)や文化芸術活動支援補助事業を3年度で終了したことに伴い、給与関係費、補助費等は減少した。

問題点・課題 ①「ディスクカバーあらかわ」について、区民部門の応募点数の増加やコロナの影響で落ち込んだ展示会来場者数の回復を図る必要がある。
②「文化交流施設」について、区民が文化を通じて気軽に交流し、多世代の居場所となる施設として、望むべき機能を具体的に検討し、整備基本方針を策定した。整備基本方針を基に、開設に向け設計や運営等の検討を進めていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	コロナ禍でも安全・安心に実施できるよう、開催方法等の検討を進める。	コロナ禍で安全・安心に実施するためにレイアウトの変更等、開催方法等の検討を行った。	他イベント等でのチラシ配布や団体会員への周知等、引き続き関係団体と協力して周知に力を入れていく。
②	検討会で基本方針を策定し、施設の基本設計等に反映していく。	検討会の意見を反映し、整備基本方針を策定した。	他自治体の先行事例施設の視察等を通じて基本設計等への反映や施設の運営形態等の検討を進める。
③			

他区の実況	(実施 0 区 未実施 0 区 不明 22 区)
-------	--------------------------

議会要旨 平成28年度決特 芸術文化振興基金の取り扱いについて
平成29年度11月会議 芸術文化振興基金の活用について
令和2年度予特 ビクトグラム講演会(オリンピック・パラリンピック文化プログラム)について
令和2年度決特 西日暮里駅前地区再開発事業における文化拠点について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-02		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	地域活動支援事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	須田	
			担当者名	池田		内線	2523	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-02		地域活動支援事業					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 19	（ 2007 ）	年度	根拠	荒川区地域活動支援事業補助金交付要綱			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	（ ）	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画		<input type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	VII 計画推進のために						
	政策	13 区民の主体的な区政参画と連携強化						
	施策	01 区民参画・協働の推進						
目的	1 豊かで住みよい地域社会を築くため、区民や区民団体等の地域活動を支援し、区政参画の機会を拡大するとともに、区民や区内団体等との協働の促進を図る。 2 団塊世代の方々が地域の活動や区政運営に積極的に参画し、地域の人的資源として活躍できるよう支援する。							
対象者等	区民団体、定年退職後の区民、地域活動に関心のある区民等							
内容	1 地域活動サロン「ふらっと.フラット」の運営補助 （運営）荒川区社会福祉協議会（場所）生涯学習センター1階 （開所日）月～金：13:00～19:00（第1・3水金は13:00～21:00 祝祭日を除く） （内容）・地域活動の拠点となるサロンの運営、情報提供、相談、コーディネート 2 コミュニティ活性化推進事業の支援 ・地域のコミュニティ活動が活性化するよう、荒川区内の団体が区民を対象として行う事業に対し支援を行う。 3 令和4年度の活動 新型コロナウイルス感染対策の制限緩和がありつつも、引き続きオンライン講座や動画による講座を行いながら、多様な地域活動を支援した。 講座名「わたしたちのグループホームへようこそ！オンライン女子会」ほか							
経過	平成19年度	地域活動サロン「ふらっと.フラット」開設、団塊世代活動支援コーナー開設						
	平成20年度	南千住図書館における団塊世代の図書特集の開催（1～3月） 関係機関連絡会の開催（2回）						
	平成21年度	区報「地域活動特集号」の発行、関係機関連絡会の開催						
	平成22年度	職員向け協働ガイドラインの検討						
	平成25年度	職員向け協働ガイドラインの策定						
	平成27年度	事業を文化交流推進課に移管						
	平成29年度	開設10周年記念事業として、ユニークアイspecial「おとなたちの音楽と紙芝居」を実施、記念誌の作成						
	令和元年度	ユニークアイspecialをオリンピック・パラリンピックプレイヤー事業として実施						
	令和2～4年度	感染症対策を実施しながら事業を再開						
必要性	多様化する区民ニーズに的確に応える区政運営のためには、区民の区政参画の機会拡大はもとより、区民や区内団体等との協働の促進が不可欠である。また、団塊世代を中心とした区民の地域活動の支援は、地域の活性化につながることから、その必要性は高い。							
実施方法	（ <input type="radio"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） ふらっと.フラット：社会福祉協議会に対する運営費補助							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	ふらっと.フラットの利用者数(人)	2815	3607	4815	5000	6000	相談、講座、場所利用、情報収集等
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
継続		継続 区民や区民団体等の地域活動を支援し、協働を促進していくため、他部署とも連携しながら継続して実施する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		6,740	6,671	6,525	7,632	7,703	7,674	7,499
決算額(5年度は見込み)		6,495	6,614	6,379	7,379	7,493	7,566	7,499
実績の推移	事項名(5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	ふらっと・フラットの事業数(回数)	37	43	45	40	52	59	60
予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助金等	地域活動支援事業補助金	7,325	負担金補助金等	地域活動支援事業補助金	7,427	負担金補助金等	地域活動支援事業補助金	7,499
償還金利子等	補助金返還額	168	償還金利子等	補助金返還額	139			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	1,763	1,755	▲ 8	地方税等	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	5,022	5,022	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	7,493	7,566	73	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,022	5,022	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	253	100	▲ 153	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 4,487	▲ 4,399	88
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	9,509	9,421	▲ 88	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 4,487	▲ 4,399	88
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 4,487	▲ 4,399	88

備考

4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響が前年度に比べて緩和されたことにより、事業費が増加したため、行政費用の補助費等が増加した。

問題点・課題

- ①地域活動の裾野の拡大や地域力を高めるために、地域活動の周知を行い、担い手を増やしていく必要がある。
- ②より効果的に地域活動の支援等を行っていくため、他部署と連携し、情報共有や適切な支援体制及び新たな支援体制等についての検討を引き続き行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、感染症の拡大状況を注視しながら、地域活動の支援を行い、イベント実施及び周知に力を入れていく。	感染症の拡大状況を注視しながら、地域活動の支援を行い、イベント実施及び周知に力を入れた。	地域活動の支援やイベント実施を行い、周知活動に努める。
②	荒川コミュニティカレッジや関係部署等と連携し、効果的な地域活動の支援に向けて調整していく。	荒川コミュニティカレッジや関係部署等との連携及びイベント開催会場との調整等により、効果的な地域活動の支援を実現した。	荒川コミュニティカレッジや生涯学習センター等の関係部署と連携し、効果的な地域活動の支援に向けて情報共有を引き続き行う。
③			

他区の実況	(実施 10 区 未実施 12 区 不明 0 区)
	ふらっと・フラットに類似したコミュニティサロンを開設する区の数
議会(要旨)質問状	平成20年4定：団塊世代の参画の推進について 平成22年1定：シルバーパワーの活用について 平成22年2定：新しい公共について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-03	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	国内都市交流事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田			
		担当者名	三浦	内線	2524			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-02-01	国内都市交流事業						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	昭和 56（ 1981 ）年度	根拠	荒川区自然体験を通じた青少年健全育成活動事業補助金交付要綱					
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 令和 7（ 2025 ）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進					
目的	生活環境や地域文化の異なる地域の人々との交流を深めることにより、区民に豊かな自然とのふれあいの場を提供し、区民の心の豊かさと相互の都市の活性化を図る。平成17年11月に策定した「荒川区都市間交流に関する取り組み方針」に基づき、国内の都市との交流を積極的に推進することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現を目指す。							
対象者等	区民							
内容	令和3年度の主な交流事業（★：荒川区でのイベント） ★川の手荒川まつり出展【オンライン実施】★表敬訪問：2自治体（福島市、潮来市） ★潮来市田植え交流会「今年の夏は！おうちで稲作」：1自治体★交流都市フェアin秋まつり：13自治体 ★交流都市フェアin春まつり：13自治体 ☆国内都市交流ツアー【休止】☆キャラバン事業【休止】 ☆自然体験補助事業【実績無し】 ☆交流都市のイベント参加（業者派遣）【派遣なし】							
	令和4年度の主な交流事業（★：荒川区でのイベント） ★川の手荒川まつり出展【休止】★表敬訪問：2自治体（福島市、潮来市） ★潮来市田植え交流会「今年の夏は！おうちで稲作」：1自治体★交流都市フェアin秋まつり：13自治体 ★交流都市フェアin春まつり：13自治体 ☆国内都市交流ツアー【休止】☆キャラバン事業【休止】 ☆自然体験補助事業【実績無し】 ☆交流都市のイベント参加（業者派遣）【1団体】							
経過	※令和5.4.1時点で29都市、交流開始順に記載、（）内は提携・協定締結年度 秩父市（旧荒川村）：S56姉妹提携、H7防災協定・21再調印、北杜市（旧高根町）：S58、大多喜町：S60（H7友好都市提携・防災協定）、鴨川市：S62（H3友好都市提携・H7防災協定）、上越市（旧吉川町）：S62（H7防災協定）、福島市：H6（H28友好都市協定、H18防災協定）、桑折町：H6（H23防災協定）、石川町：H6（H8防災協定）、村上市（旧荒川町）：H8（R2防災協定）、釜石市：H9（H11防災協定）、射水市（旧下村）：H11（H26防災協定）、鮭川村：H15（H24防災協定）、三条市：H15、福井県：H16、潮来市：H16（H30防災協定）、つがる市：H16、二本松市（旧東和町）：H17、小野町：H17、つくば市：H18（H20友好都市提携、H24防災協定）、津南町：H19、大垣市：H19（H23防災協定）、米沢市：H20（産業連携協定締結）、広尾町：H21、成田市：H22、印西市：H22、南アルプス市：H24、佐渡市：H26、真室川町：H27、みなべ町：H27							
必要性	国内の都市との交流を深めることで、荒川区の魅力と活力を高めるとともに、災害時の相互応援を図ることが期待できる。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員 ） 国内都市交流ツアーの一部を委託							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	国内交流都市ツアー参加者数	0	84	58	80	150	3～4年度「おうちで稲作」参加者数（親子）
	②	あらかわキャラバン派遣団体数	0	0	0	2	2	2～4年度は派遣先の交流都市イベントがコロナの影響で開催休止
③	交流都市フェア開催数	2	2	2	1	-	2年度から実施方法を変更して開催	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
重点的に推進	重点的に推進	区民・交流都市相互にメリットがある交流事業を実施することにより、荒川区の魅力と活力を高め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、災害時における相互応援強化を図るために重点的に推進する。						

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額	11,212	12,271	11,447	8,446	5,851	5,784	5,850
決算額 (5年度は見込み)	6,613	8,283	4,709	804	727	1,191	5,850
実績の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)							
交流都市数	29	29	29	29	29	29	29
交流都市ツアー応募者数	280	358	328	0	84	328	300

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	まつり・出展謝礼	0	報償費	まつり・出展謝礼	43	報償費	まつり・出展謝礼	442
旅費	交流都市事業等出張旅費	57	旅費	交流都市事業等出張旅費	258	旅費	交流都市事業等出張旅費	544
需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	466	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	585	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	1,013
役務費	交流都市寄贈品送料	0	使用料等	パネル展付帯設備料等	117	役務費	キャラバン派遣団体交通費	20
委託料	おうちで稲作動画撮影・編集	99	負担金等	交流都市ツアー随行参加費	58	委託料	国内交流ツアー委託料	1,626
使用料等	パネル展付帯設備料等	105	償還金利子	地方創生推進交付金返還	130	使用料等	パネル展付帯設備料等	1,375
負担金等	青少年健全育成活動事業	0				負担金等	青少年健全育成活動事業	830

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額	3年度		4年度	差額		
	給与関係費	12,343	12,725	382	地方税等	0	0	0	
	物件費	727	959	232	国庫支出金	130	0	▲ 130	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	231	231	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	76	82	6	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	206	82	▲ 124	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,774	728	▲ 1,046	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 14,638	▲ 14,561	77	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	14,844	14,643	▲ 201	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 14,638	▲ 14,561	77	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 14,638	▲ 14,561	77	

備考
物件費については、4年度はイベント再開に伴い、交流都市出張旅費や消耗品購入等の増によるものである。
補助費については、地方創生推進交付金の返還額等である。

問題点・課題
自然体験やキャラバン事業による団体派遣については交流都市の状況を踏まえた実施方法を協議・検討する必要がある。
現地でのツアーについては、交流都市や区民の現在のニーズに合わせた内容を検討していく必要がある。
対面での特産品販売会については、交流都市の意向を踏まえた実施方法を検討する必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	自然体験交流やキャラバン事業による団体派遣については、交流都市と協議しながら、実施方法を検討する。	キャラバン事業については感染状況を鑑み休止とし、自然体験交流は昨年度同様に代替事業として区内でバケツ稲作りを実施した。	団体派遣について交流都市と協議し、事業再開に向けて調整を進める。
②	万全な感染対策を施したうえで、現地でのツアーの実施に向けて、交流都市と協議を進める。	現地でのツアーについては、交流都市と協議をした結果、感染状況を鑑み休止とした。	交流都市や区民のニーズに合わせた内容のツアー再開に向けて、交流都市と調整を進める。
③	パネル展やWebを活用した事業を継続し、交流都市のPRを図る。また、区施設での特産品販売等も今後検討していく。	区施設で交流都市を紹介するパネル展を実施するとともに、区HPで交流都市の特産品販売サイトを案内し、交流都市のPRを図った。	交流都市の意向を踏まえ、対面での特産品販売会の実施に向けて交流都市と調整を進める。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会(要旨)質問状	平成28年度決特 平成29年度9月 令和2年11月 令和3年度決特	自然体験事業の必要性について 都市間交流の発展について オンライン等を活用した交流事業について 交流都市との継続的な関係作りについて
-----------	--------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-04	戦略プラン	● 協働 ○ 業務 ○ 財務 ○ 人事				
事務事業名	国際交流協会補助	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田		
		担当者名	堀川	内線	2526		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-03-01	国際交流協会補助					
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 5年度 ○ 4年度）		○ 建設事業 ● それ以外の継続事業				
開始年度	平成 5（1993）年度	根拠	荒川区国際交流協会補助金交付要綱				
終期設定	● 有 ○ 無 令和 7（2025）年度	法令等	設立趣意書				
実施基準	○ 法令基準内 ○ 都基準内 ● 区独自基準		計画区分	○ 計画 ● 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進				
目的	区民の国際交流活動の拠点として、国際交流事業を推進し、海外都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的とする。（協会会則第3条）						
対象者等	荒川区国際交流協会 設立 平成5年10月21日 組織 理事12人、事務局7人（区職員兼務）、監事2人 会員 賛助会員（159名）、協力会員（375名） ※令和5年6月1日現在						
内容	≪荒川区国際交流協会の主な事業≫ ※（ ）内は開始年度 ○在住外国人支援事業 日本語教室（H13 ※5～12年度では区が事業主催）…年間132回（66回×2コース） ○国際理解・啓発事業 日本語サロン（H10）…週1回×2コース、外国人おもてなし講座（H27）、世界の料理教室（H24）、広報宣伝活動…協会便り（年1回発行）事務局便り（月1回発行） ○区民相互の交流事業 川の手荒川まつり出展、日本語スピーチ大会（H7）、外国人のための防災講座、国際交流バスハイク（H6）、茶道教室（H13）、華道教室（H23） ○海外友好交流事業 ウィーン市ドナウシュタット区高校生派遣、インターン大学生受入事業（H17）、日墺親善コンサート（H26）、周年事業 ○令和4年度事業内容 日本語教室4月～3月（132回）、通訳・翻訳ボランティア勉強会をオンラインで実施、国際交流バスハイクを区内で実施、日本語スピーチ大会をオンラインにて実施等						
経過	自主財源率（会費及び事業収入等）の推移 ・平成12年度までは総収入の15%程度であった。 ・平成17年度は事業増に伴う、区補助金の増により38%となる。 ・平成18年度以降は30%～40%台で推移している。 ・令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、ほとんどの事業を休止または中止とした。 ・令和4年度はコロナ禍においても実施方法を工夫するなど事業を徐々に再開し、賛助会費の徴収を3年ぶりに行った。自主財源率は、24%となった。 ・未実施事業に関する補助金は区へ返還している。 ○協会25周年 平成30年度に協会設立25周年を迎えた。主に5年以上協会事業に協力いただいた方66名、4団体を表彰し、感謝のつどいを行った。						
必要性	交流都市との交流事業や在住外国人への支援、交流を推進し、区民の国際理解を深めるとともに、多文化共生の地域社会を実現するため、協会への支援は必要である。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 ● 常勤職員 ● 会計年度任用職員） 協会の派遣依頼により、地域文化スポーツ部長は事務局長、課長は事務局次長、都市交流係員は事務局員を兼職。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値（8年度）	
	① 協力会員・賛助会員数	521	491	531	560	670	個人+団体数
	② 協会事業参加者数	334	650	3,500	4,000	4,700	日本語教室等は延べ人数
③ 通訳ボランティア養成講座数	0	1	1	1	4		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
5年度	6年度						
重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際理解・交流の推進母体として支援する必要があるとともに、在住外国人支援事業を重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		6,636	6,636	6,636	5,852	5,852	5,852	5,852
決算額 (5年度は見込み)		4,274	4,713	3,394	1,554	2,310	2,603	5,852
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)								
協力会員 (人数)		336	350	370	366	338	369	400
賛助会員 (件数：団体+個人)		188	190	169	155	153	162	200
補助金の協会事業に占める割合 (%)		55.0	55.0	55.0	95.0	92.0	76.2	55.0

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
負担金補助等	国際交流協会補助	2,310	負担金補助等	国際交流協会補助	2,603	負担金補助等	国際交流協会補助	5,852

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	7,935	10,970	3,035	地方税等	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	2,310	2,603	293	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,141	628	▲ 513	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 11,386	▲ 14,201	▲ 2,815
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0
	行政費用合計 (b)	11,386	14,201	2,815	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 11,386	▲ 14,201	▲ 2,815
特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0	
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 11,386	▲ 14,201	▲ 2,815	

備考

行政費用では、国際交流協会として日本語サロンやバスハイク等主催事業を再開したことに伴い、協会への補助費等が昨年度より増額している。

問題点・課題

日本語教室・サロンなど、需要が高い事業については、事業内容の充実を検討する必要がある。事業については、感染症対策を含め、今後の実施方法について検討する必要がある。ウィーン市ドナウシュタット区高校生相互派遣など海外渡航を伴う事業については、社会情勢の変化の影響を受けやすい事業であるため、現地の担当者との密な情報共有が必要である。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	日本語教室やサロン等の特にニーズの高い事業については、関係者と常に情報交換を行った上、再開をする。	日本語教室・サロンともに関係者と感染対策について十分な協議をし、規定以上の人数制限をした上で活動を再開している。	ニーズの高い事業であるため、さらに内容を充実していくなど、運営方法について関係者と検討する。
②	他の事業についても、感染状況を注視しつつ、オンライン等を活用した実施方法も含め、柔軟な対応により再開を検討する。	講義形式で開催予定の事業については、オンラインにて開催をした。	感染状況に注視しつつ、関係者と事業の実施方法について検討する。
③	相互派遣再開を見据え、関係者と実施時期等の調整及び調査、準備を行う。	来年度の実施に向けて、交流都市関係者と随時情報交換を行い、相互派遣を行う方向で話がまとまった。	国内・海外の状況を鑑みながら事業を企画する。

他区の実況

(実施 10 区 未実施 12 区 不明 0 区)
国際交流設置自治体※東京都国際交流委員会HPより

議会議決(要旨)

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	14,225	14,629	14,967	16,537	11,302	10,641	10,448	
決算額 (5年度は見込み)	13,430	12,602	12,641	12,948	8,429	8,439	10,448	
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	海外出張旅費支出人数	10	6	3	0	0	0	2
	海外受入・訪問団体数	15	7	3	0	0	0	2

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報酬	国際・都市交流推進員報酬	5,776	報酬	国際・都市交流推進員報酬	5,791	報酬	国際・都市交流推進員報酬	5,925
職員手当等	国際・都市交流推進員期末手当	1,155	職員手当等	国際・都市交流推進員期末手当	1,155	職員手当等	国際・都市交流推進員期末手当	1,159
共済費	国際・都市交流推進員社会保障費	1,106	共済費	国際・都市交流推進員社会保障費	1,087	共済費	国際・都市交流推進員社会保障費	1,036
旅費	通勤手当	392	旅費	通勤手当	406	旅費	近接地外旅費等	1,889
需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	0	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	0	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	264
役務費	交流都市訪問時入出国税等	0	役務費	交流都市訪問時入出国税等	0	役務費	交流都市訪問時入出国税等	140
使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	0	使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	0	使用料及び賃借料	携帯電話等レンタル料	35

行政コスト計算書	勘定科目		3年度	4年度	差額	勘定科目		3年度	4年度	差額
	行政費用	給与関係費	10,836	8,904	▲ 1,932	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	392	406	14		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	0	0		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	0	0	0		その他	0	0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	0	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額	450	68	▲ 382		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 11,678	▲ 9,378	2,300
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		11,678	9,378	▲ 2,300	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 11,678	▲ 9,378	2,300	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 11,678	▲ 9,378	2,300			

備考 行政費用では、物件費において職員の交通費が公共交通機関の料金改定により、昨年度と比べ微増している。

問題点・課題 感染症の影響で中断していた交流事業を再開するにあたり、中断していた期間に変化した社会情勢や物価など現状を調査した上で内容を精査する必要がある。また、事業実施に向けて、現地での状況を把握するため、今後一層、関係者と密な連絡を取ることが必要である。また、SNSでの情報発信を行うとともに、対面で会う回数が少ないため、オンラインでの交流などを検討する。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	海外交流都市と渡航再開に向けた互いの国の状況について、情報共有を積極的に行っていく。	海外交流都市と随時、コロナ禍における互いの国の対応状況を情報共有し、海外渡航の可否について、確認した。	事業の再開にあたり、参加者・交流都市に感染症の現状について相互理解を促していく。
②	自治体間だけでなく、住民同士の交流を推進させるため、区民へ、交流都市及び事業の広報の強化を図る。	新たにポスターやチラシを作成することにより、事業の広報活動を行い、多くの区民へ周知することができ、活動の活性化に繋がった。	協会のHPやSNS媒体を用い、継続的に海外都市交流のPRに努める。
③			

他区の実況	(実施 20 区 未実施 2 区 不明 0 区)
	姉妹・友好都市提携状況

議会(要旨)質問状	平成28年度9月 濟州市・大連市中山区との継続的な交流推進について 平成28年度決特 国際交流の現状と今後について (文化団体の交流事業) 平成29年度2月 濟州市との今後の交流関係について 令和3年度2月 国際交流都市との民間交流の取り組みについて 令和3年度2月 中国大連市中山区及び韓国濟州市との友好交流の解消について
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-06	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	彫刻の街づくり事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田			
		担当者名	相馬	内線	2522			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-04-01	彫刻の街づくり事業費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	昭和 60（1985）年度	根拠						
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	緑の多い広場、公園やゆったりとした歩道など、区民の多くが憩い、集う場所に彫刻を設置し、新しい景観、ゆとりとやすらぎの空間を区民に提供する魅力ある街づくりを推進することを目的とする。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	<p><input type="checkbox"/> 彫刻作品の設置 生活にゆとりとやすらぎを創りだし、住み続けたい街、魅力ある街づくりの一環として彫刻を設置し、適切に管理するものである。 <設置場所の基本的な考え方> ①区民や区外の人が多く利用する場所（本庁舎前、主要駅、多数の区民の集う拠点施設、公園等） ②特定区民の利用する場所（学校、校外教育施設等） 設置場所、設置施設に適したシンボル性や親しみを感じられるものを設置してきた経緯がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 「あらかわ街なか美術館」の開設 区内全域を「あらかわ街なか美術館」に見立て、彫刻作品（135作品）に二次元コードを整備して区ホームページと連動した作品紹介や観光アプリへの掲載（132作品）を通し、芸術文化による魅力ある街づくりを進める。</p>							
経過	<p><input type="checkbox"/> 彫刻作品の設置 ・「緑と彫刻の街づくり事業」として昭和60年度から公共の広場、公園、道路などに計149作品（うち寄贈100作品）を設置。（令和5年4月時点） ・平成15年から平成18年は新規の設置は行わず、清掃・メンテナンス及び修繕のみ行ってきた。 ・平成19年度以降は東京藝術大学との連携事業として卒業・修了作品の中から区長賞受賞作品を設置。 ・平成29年度寄贈された極彩色木彫作品48作品を区有施設に設置。 ・平成30年5月寄贈された「山吹の花一枝」像を日暮里駅前に設置。 ・平成31年3月荒川総合スポーツセンター改修工事に伴い、周辺の彫刻5作品を野球場周辺へ移設。</p> <p><input type="checkbox"/> インプログレス作品「汐入タワー」の管理 ・平成23年3月に都立汐入公園（南千住8丁目）内に設置、竣工。 ・平成29年8月1日にクロージングイベントを実施し、作品の展示を終了。</p>							
必要性	彫刻は、街にゆとりとやすらぎを創出し、地域文化の向上と区のイメージアップを図るため設置してきた。「豊かさの実感できる社会」の創造が求められるなか、設置した彫刻が区民に親しまれるよう適切に管理していくことが重要である。							
実施方法	<p>（<input type="checkbox"/> 一部委託）（直営の場合 <input type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員）</p> <p>彫刻作品の設置：彫刻作品の清掃・メンテナンスを行い、作品を適切に管理する。</p>							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	彫刻の修繕完了率(%)	100	100	100	100	100	修繕完了数（年度内）/修繕必要数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
推進		推進		これまでに区内に設置した彫刻作品を活用して、新しい景観、ゆとりとやすらぎの空間を区民に提供するために、彫刻作品の適切な管理と魅力の発信を推進する。				

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		12,701	6,670	2,463	2,155	2,969	1,740	1,709
決算額 (5年度は見込み)		11,412	5,299	575	712	2,588	1,548	1,709
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名 (5年度は見込み)								
彫刻の清掃メンテナンス (体)		54	68	49	55	66	60	60
彫刻の修繕数 (体)		2	0	0	0	1	0	1
区内の彫刻数 (体)		139	142	144	146	148	149	150
設置数		50	3	2	2	2	1	1
予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	アートセミナー講師謝礼	0	報償費	アートセミナー講師謝礼	28	報償費	アートセミナー講師謝礼	28
需用費	賄、消耗品、彫刻修繕等	834	需用費	賄、消耗品、彫刻修繕	163	需用費	賄、消耗品、彫刻修繕	451
委託料	彫刻、壁画清掃・アプリ更新	1,754	委託費	彫刻・壁画清掃、アプリ更新、剪定	1,354	委託費	彫刻・壁画清掃、アプリ更新、剪定	1,224
使用料及び賃借料	アートセミナー会場使用料	0	使用料及び賃借料	アートセミナー会場使用料	3	使用料及び賃借料	アートセミナー会場使用料	6

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	5,731	4,827	▲ 904	地方税等	0	0	0
	物件費	2,419	1,521	▲ 898	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	169	0	▲ 169	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	27	27	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	824	276	▲ 548	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 9,143	▲ 6,651	2,492
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	9,143	6,651	▲ 2,492	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 9,143	▲ 6,651	2,492
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 9,143	▲ 6,651	2,492	

備考 行政費用では、物件費が多くかかっている。内訳としては消耗品購入や彫刻清掃、壁画清掃、観光アプリ更新委託である。彫刻作品の清掃は屋外は毎年（大型作品は3年毎）、屋内は3年毎に実施しているため、年度により実績が変動する。

問題点・課題 ・設置して年数の経つ作品もあることから、適切な維持管理を行う必要がある。
・身近な芸術鑑賞として区民に親しんでもらえるよう「あらかわ街なか美術館」の整備を引き続き行い、区内に設置している彫刻作品のPRを強化するなど、すでにある芸術作品の活用を図る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	定期清掃時に彫刻の不具合や二次元コードの確認点検を行い、修繕の必要がある彫刻等については対応をする。	定期清掃時に彫刻の不具合や二次元コードの確認点検を行い、補修の必要がある二次元コードの修理を行った。	引き続き、彫刻の定期清掃時に不具合や二次元コードの点検を実施し、適切な維持管理を行う。
②	新規設置作品等の観光アプリへの掲載や区HPの内容の充実を図るとともに、彫刻に関する事業・イベントを実施していく。	新規設置作品等の観光アプリへの掲載や彫刻に関する事業・イベントを実施した。	引き続き、新規設置作品等の観光アプリ、区HPの内容の充実を図り広くPRを行うとともに、彫刻に関する事業を実施していく。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会要旨(質問状) 平成25年予特 彫刻等のPRについて
平成27年決特 汐入タワーの安全管理について
平成27年予特 彫刻の適切な設置場所について
令和3年観光・文化 あらかわ街なか美術館について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-07	戦略プラン	<input checked="" type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事		
事務事業名	音楽のまちづくり推進事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田			
		担当者名	齊藤	内線	2523			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-05-01	音楽のまちづくり推進事業費						
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 5年度 <input type="checkbox"/> 4年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業		<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	昭和 61（1986）年度	根拠	東京荒川少年少女合唱隊事業補助金交付要綱					
終期設定	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内 <input type="checkbox"/> 都基準内 <input checked="" type="checkbox"/> 区独自基準		計画区分	<input type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	音楽を中心とする地域文化の振興を図り、区の芸術文化の向上に寄与することを目的とする。区に本拠地を置く東京荒川少年少女合唱隊は、合唱活動を通じて荒川区のイメージアップと区民の文化振興、青少年の健全育成に大きく貢献していることから、その活動を支援することで、音楽を通じた区の文化振興を図る。							
対象者等	東京荒川少年少女合唱隊 代表：大村 光彦 指揮者：米谷 毅彦 団員数：19名							
内容	≪合唱隊への補助≫ 合唱隊の活動に要する経費について、補助し、活動を支援する。 （参考）合唱隊の主な活動状況 ・定期演奏会（年2回） ・えきなかコンサート@JR日暮里駅 ・「ふらっとにっぽり」における公開練習&ミニコンサート ・創立記念式典&ミニコンサート ・区内でのイベントへ多数出演（区民音楽会やJR日暮里駅クリスマス点灯式、区新年祝賀式等） ・交流都市等への出張コンサート ≪街なかピアノを活用したコンサート≫ 東京藝術大学美術学部によるラッピングを施したピアノを活用して、合唱隊のコンサートを実施							
経過	昭和40年に創立され、区内外で幅広く活動している。 ≪合唱隊による演奏≫ ①区内での公演 平成15年度～18年度：区役所玄関ロビーにて年2回ミニコンサートを開催 平成17年度に、創立40周年記念のため記録ビデオ「こころで唄いあげた日々 東京荒川少年少女合唱隊40周年、そして未来へ」を作成。 平成22年度～：クリスマスツリー点灯式（ハッピートイズプロジェクトJR日暮里駅コンコース） 令和4年度：釜石市より合唱団体を招き、渡邊顕磨生誕90周年記念コンサートを企画・実施 令和5年度～：えきなかコンサートやふらっとにっぽり公開練習等、活動の場を拡大 ②あらかわキャラバン事業による派遣 平成23年度釜石市、平成24年度秩父市、平成25年度北杜市、平成30年度釜石市へ派遣							
必要性	荒川区のイメージアップ、青少年の健全育成や音楽を中心とした地域の芸術文化活動の広がりをもたらすため、合唱隊の活動を今後も支援していく必要性がある。							
実施方法	（ <input type="checkbox"/> 直営）（直営の場合 <input checked="" type="checkbox"/> 常勤職員 <input type="checkbox"/> 会計年度任用職員） 補助金の支出については、補助要綱に基づき、事業内容を審査の上、補助金額を決定している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	定期演奏会来場者数(%)	0	21	29	35	60	会場の定員の9割を100とした場合の割合
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度	6年度							
継続	継続	合唱活動を通じた区のイメージアップと文化振興、青少年の健全育成を図る事業であるため、継続して実施する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額		1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	2,315	
決算額 (5年度は見込み)		1,852	1,852	1,852	1,210	1,297	1,852	2,315	
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
	隊員数	28	30	32	28	18	19	25	
	定期演奏会来場者数	815	700	724	0	181	445	700	
	演奏回数	11	15	15	2	4	6	8	
予算・決算の内訳									
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)			
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	
負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,297	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	
							報償費	出演謝礼	30
							需用費	周知用消耗品等	35
							委託料	藝大への事業委託	300
							使用料及び賃借料	会場使用料等	98

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	441	2,633	2,192	地方税等	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,297	1,852	555	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	63	151	88	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,801	▲4,636	▲2,835
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	1,801	4,636	2,835	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,801	▲4,636	▲2,835
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲1,801	▲4,636	▲2,835

備考

行政費用の補助費等は東京荒川少年少女合唱隊への補助金である。

問題点・課題

- ・コロナ禍で一部活動縮小していたことから、本格的に活動を再開し、隊員を増やしていくためには、様々な工夫が必要である。
- ・団体の意向を踏まえ、調整を図りながら、必要な支援を続けていく。
- ・区の行事への参加をはじめ、活動の機会や場所についての情報提供を区から積極的に行い、あわせて団体の広報活動についても支援を行っていく。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	団体の意向や感染症の状況を踏まえて、引き続き、活動を支援していく。	隊員増を図るため、学校等を通して積極的に広報活動を行った。90周年記念演奏会にあたり交流都市と連携した支援を行った。	発表の機会を増やすため、駅での演奏会や街なかピアノを活用した事業等、新たな事業を企画する。
②			
③			

他区の実況	(実施 12 区 未実施 0 区 不明 10 区)
議会議決(要旨)	

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-08		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	東京藝術大学との連携事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田		
			担当者名	白石	内線	2522		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-06-01	東京藝術大学との連携事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 21（2009）年度	根拠						
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（2025）年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	荒川区の隣接地に所在し、我が国の芸術文化の発展に大きな役割を果たしている国立大学法人東京藝術大学と、芸術・文化振興に係る事業はもとより、幅広く区行政全体にわたって相互の人材及び物的資源を最大限に生かした緊密な連携のもとに協力して事業を実施し、区における芸術文化の振興を図る。							
対象者等	東京藝術大学関係者、区民等							
内容	<p>「国立大学法人東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携に係る合意書」を踏まえて、次の事業を実施。</p> <p>(1) 19年度から、東京藝術大学卒業・修了予定者が制作する彫刻作品を対象に荒川区長賞を授与し、受賞作品を区内に設置している。(22年度より「緑と彫刻の街づくり事業」から本事業に組替)</p> <p>(2) 東京藝術大学音楽学部と連携し、卒業生・在学生等の若手演奏家によるコンサート等を区内施設にて実施し、区の芸術・文化振興をはかる。</p> <p>(3) 区内に活動拠点を置く東京藝術大学卒業生グループ「アプリユス」(以下「A+」)等と協力し、次代の芸術文化活動の担い手となる子どもの創造力を高めるためのワークショップ(以下「WS」)や知的障がい・発達障がいのある子どものための講座(アートセラピー)を開催する。</p>							
経過	<p>H19年度～東京藝術大学卒業・修了予定者制作彫刻作品を対象とした荒川区長賞授与</p> <p>H20年度:「芸術・文化振興のための連携に係る合意書」締結</p> <p>H20年度～:ふれあい館、保育園等でアートWS実施(～R元年度)</p> <p>H21年度:水道局旧工業用水道事務所(以下、「旧水道局南千住施設」)をA+が使用(～H24.9)</p> <p>H22年度～壁画制作(～令和元年度) H23年度～アートセラピー</p> <p>H27年度:東京藝術大学に旧水道局南千住施設を転賃借用(～H30.5),区PR映像作成</p> <p>H29年度～東京藝術大学音楽学部との連携により、区民向けコンサート開催</p> <p>H30年度:東京藝術大学との連携10周年事業(コンサート、ゆいアート展)開催</p> <p>R2年度～ゆいの森等での子ども向けWS実施</p>							
必要性	区民が身近なところで、質の高い芸術作品や芸術家に触れる機会を創出することは、区民の自主的な文化活動の促進につながるため、必要性が高い。							
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員) 東京藝術大学音楽学部及びA+に委託して実施している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	藝大と連携した事業への参加者数	150	458	435	695	700	一般向け+子ども向け事業数
	②	区民との共同による壁画制作	7	7	7	7	7	壁画の制作数(累計数) 3年度サンセット休止・完了事業
③	子どもへの芸術教育の推進	3	5	5	5	5	子どもを対象とした事業数	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
推進	推進		これまで東京藝術大学との連携により実施してきたコンサートやワークショップ等を活用して、区民に身近な場所で質の高い芸術作品・芸術家と接する機会を提供していくため、推進する。					

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	30,009	28,047	12,894	4,803	4,847	3,321	3,094	
決算額(5年度は見込み)	24,369	10,767	9,382	3,973	4,267	2,927	3,094	
実績の推移	事項名(5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
実績の推移	実施事業数	9	10	8	4	6	6	6
	藝大卒業修了制作作品数累計	22	24	26	28	30	31	32

予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	奨学金、講師等謝礼	2,014	報償費	奨学金、講師等謝礼	1,014	報償費	奨学金、講師等謝礼	1,014
需要費	消耗品等購入	24	需要費	消耗品等購入	15	需要費	消耗品等購入	60
役務費	賞状筆耕、調律料	33	役務費	賞状筆耕、調律料	25	役務費	賞状筆耕、調律料	30
委託料	ワークショップ等委託	1,383	委託料	ワークショップ等委託	1,377	委託料	ワークショップ等委託	1,005
使用料等	コンサート会場使用料	96	使用料等	コンサート会場使用料	100	使用料等	コンサート会場使用料	201
備品購入費	卒業作品展示用品購入	717	備品購入費	卒業作品展示用品購入	396	工事請負費	卒業作品設置工事	784

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	5,731	3,949	▲ 1,782	地方税等	0	0	0
	物件費	2,254	1,913	▲ 341	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	2,014	1,014	▲ 1,000	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	9	15	6
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9	15	6
	賞与・退職給与引当金繰入額	824	226	▲ 598	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 10,814	▲ 7,087	3,727
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	10,823	7,102	▲ 3,721	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 10,814	▲ 7,087	3,727
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 10,814	▲ 7,087	3,727	

備考 行政費用では、委託料・備品購入費等として物件費及び区長賞奨学金等の報償費として補助費等が多くなっている。令和3年度は区長賞作品数が減となったため、補助費に差額が生じている。その他行政収入は、ワークショップ参加料である。

問題点・課題 ①東京藝術大学と連携したコンサートやワークショップについては、区民からのニーズが高いため、様々な手法を取り入れながら、より多くの区民が質の高い芸術文化に触れることができるよう事業を実施する必要がある。
②区民が身近な場所で芸術文化に親しむことができるよう、荒川区長賞授与作品等の活用や周知をさらに図っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	感染症の動向に注視しながら、より多くの区民が芸術文化に触れることができるよう様々な手法により連携事業を実施していく。	感染対策を図った上で、動画配信等を活用しながら、連携コンサートを開催し、区民が芸術文化に触れる機会を創出した。	開催会場の見直しや動画配信等を活用しながら、より多くの区民が芸術文化に触れる機会を提供していく。
②	区民向けワークショップや観光アプリ等を通して、作品に対する周知をさらに進めていく。	彫刻の魅力伝えるワークショップや観光アプリに掲載する彫刻情報の充実を図り、区長賞授与作品に関する周知を促進した。	東京藝術大学と連携した彫刻をテーマとするワークショップ等を通して、作品の周知や鑑賞の機会を提供していく。
③			

他区の実況	(実施 3 区 未実施 19 区 不明 0 区)
	・東京藝術大学との協定等締結による連携事業実施自治体数

議会議案(要旨)	平成27年度9月会議 南千住水道局跡地・東京藝術大学活動拠点での映像分野の取り組みの充実について 令和元年度9月会議 南千住図書館入口のペイント画の概要について
----------	-------------------------------------------------------------------------------------

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	4,503	8,045	3,377	3,063	2,879	2,895	5,594	
決算額 (5年度は見込み)	1,723	2,787	1,694	1,599	1,619	2,109	5,594	
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	あらかわ俳壇の投句数 (区外)	250	-	265	579	1382	2166	2200
	あらかわ俳壇の投句数 (子ども)	27	-	112	149	598	893	900
	俳句イベントの実施回数	5	5	8	3	3	5	5
	俳句ポスターの設置	10	14	17	20	20	21	21

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	講師謝礼	310	報償費	講師謝礼	517	報償費	講師謝礼、託児謝礼	820
旅費	職員旅費	0	旅費	職員旅費	0	旅費	職員旅費	471
需用費	消耗品購入、印刷製本	1,174	需用費	消耗品購入、印刷製本	1,272	需用費	消耗品購入、印刷製本	2,218
役務費	保険料等	0	役務費	保険料等	0	役務費	保険料等	21
委託料	投句用紙回収	42	委託料	投句箱作成、投句用紙回収	83	委託料	懸垂幕、タペストリー作成等	1,652
使用料等	会場使用料、付帯設備料	73	使用料等	会場使用料、付帯設備料	217	使用料等	会場使用料、付帯設備料	392
負担金	俳句ユネスコ協議会	20	負担金	俳句ユネスコ協議会	20	負担金	俳句ユネスコ協議会	20

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	10,139	10,970	831	地方税等	0	0	0
	物件費	1,289	1,572	283	国庫支出金	0	108	108
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	330	537	207	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	108	108
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,458	628	▲ 830	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,216	▲ 13,599	▲ 383
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	13,216	13,707	491	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 13,216	▲ 13,599	▲ 383
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 13,216	▲ 13,599	▲ 383

備考 行政費用では、需用費として物件費が多くかかっている。4年度の主な内訳としては、俳句手帳の購入費、PRグッズの制作費、俳句のまちリーフレットの印刷費が挙げられる。行政収入では、地方創生推進交付金分が増となった。

- 問題点・課題
- ① 区民が俳句に触れる機会を増やし、「俳句のまちあらかわ」の区民の認知度をさらに向上させる必要がある。
 - ② 若年層や初心者に興味を持ってもらうためのアプローチを行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区内広域における俳句の掲示等、様々な手法で事業を実施し、多くの区民が俳句に触れる機会を創出する。	入選作品のポスター掲示や区の俳句事業に関する展示、選句募集の実施といった様々な観点から区民が俳句に触れる機会を創出した。	受賞機会やPRの充実を行うことで、さらに多くの区民に俳句に興味を持ってもらう機会を創出する。
②	主に若年層や初心者が参加しやすい俳句事業の実施を検討する。	学校に対し事業周知を継続的に行うとともに、初心者向けの俳句講座を開催し、若年層や初心者の参加意欲の促進を図った。	引き続き学校に対する事業周知を行うとともに、若年層、初心者への効果的なアプローチを検討する。
③			

他区の実況	(実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区)			
		江東区：きらり☆こうとう俳句祭 (小中学校俳句大会)、区立中学校俳句部、俳句関連動画配信 等		

議会議決要旨	要旨
平成28年度2月会議	「俳句のまちあらかわ」の推進について
平成28年度2月会議	ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組について
平成29年度6月会議	「俳句のまちあらかわ」の更なる推進について
令和3年予特	「俳句のまちあらかわ」の更なる推進について
令和4年予特	「俳句のまちあらかわ」の更なる推進について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-10	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事					
事務事業名	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団補助	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	須田		
		担当者名	池田		内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	財団職員人件費						
	01-02-01	財団運営費（財団運営費）						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	昭和 63（ 1988 ）年度	根拠	地・自法232の2、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団に対する助成等に関する条例					
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 7（ 2025 ）年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	公共性と収益性のある芸術文化のための公益法人を育成することにより、事業の充実や新たな展開を図り区民サービスを充実させる。併せて、将来的に区財政の負担軽減を図る。							
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（ACC）							
内容	本事業は芸術文化振興財団助成事業のうち、職員人件費及び財団運営に必要な運営費、理事会評議員会に関する経費、財務管理システム経費を補助するものである。 ・令和5年度（4月1日現在） 常勤職員：事務局長1人（固有）、管理係3人（派遣）、文化事業係4人（派遣） <派遣職員7人、固有常勤職員1人、固有非常勤職員7人、固有非常勤理事長1名> ・運営費：光熱水費、消耗品費、健康診断費、通信運搬費、複写機等賃借料等 ・理事会評議員会経費：理事会（12人）、評議員会（17人）開催に係る経費 ・財務管理システム経費：データ回線使用料、システム機器リース経費等							
経過	平成18年度：町屋文化センター（所管：社会教育課）及び荒川遊園（所管：公園緑地課）の指定管理者となる。地域振興公社の所管課は区民生活部文化交流推進課となる。 平成20年度：荒川遊園事業部長を設置 平成21年度：理事長を常勤職員（固有）とし、管理係を1名増員。管理係に遊園安全担当係長を設置 平成22年度：事務局長を固有職員とする。管理係に人材派遣職員を1名採用 平成23年度：理事長と事務局長を兼務、管理係の人材派遣職員を1名減。荒川遊園の指定管理終了（区直営となったため） 平成24年度：事務局長を配置し、理事長の兼務を解消。公益財団法人へ移行（4月1日） 平成26年度：次長職を配置 平成27年度：次長職は事務局長が兼務、文化事業係の派遣職員数を1名増 平成29年度：次長職を配置 令和元年度：次長職は事務局長が兼務							
必要性	芸術文化事業の実施団体として、その活動を支援していく必要がある。また、荒川区芸術文化振興財団の効率的な運営のため職員体制の確保は不可欠である。							
実施方法	（ 1直営 ） （ 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ） 補助金の交付							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値（8年度）
	①	友の会会員数	648	1,087	2,658	2,850	3,000	年度末時点での会員数 ※R3～無料会員含む
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
推進		推進 芸術文化振興の担い手としてのACCへの補助が必要であるため、推進する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		60,260	60,127	57,946	50,580	50,672	50,320	50,052
決算額（5年度は見込み）		53,481	50,657	43,108	42,240	43,749	44,616	50,052
実績の推移	事項名（5年度は見込み）	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	派遣職員数	7	7	7	7	7	8	7
	固有職員数	2	2	1	1	1	1	1
	非常勤職員数	7	7	7	7	7	6	7
	非常勤理事長	1	1	1	1	1	1	1
予算・決算の内訳								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	財団職員人件費	37,234	負担金補助等	財団職員人件費	36,108	負担金補助等	財団職員人件費	41,084
負担金補助等	財団運営費	6,515	負担金補助等	財団運営費	8,508	負担金補助等	財団運営費	8,968

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	441	439	▲ 2	地方税等	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	43,749	44,616	867	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	63	25	▲ 38	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 44,253	▲ 45,080	▲ 827
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	44,253	45,080	827	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 44,253	▲ 45,080	▲ 827
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 44,253	▲ 45,080	▲ 827	

備考

行政費用では、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳としては、財団人件費、財団運営費である。

問題点・課題

感染症に関する各種制限が撤廃された中で、区と緊密に連携し、円滑な事業運営と柔軟性を発揮して、より活発な事業展開が求められる。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	コロナ禍における事業実施を検討しつつ、会員制度を周知し、システムの利用促進に努める。	システムによるチケット販売事業数の拡大や周知により、インターネット会員の数を伸ばすことができた。	会員制度やシステムによるチケット販売を周知し、引き続き利用促進に努める。
②			
③			

他区の実況	(実施 18 区 未実施 0 区 不明 4 区)
議会議事録(要旨)	平成30年度決特 決算不要額の内訳について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-11		戦略プラン	●協働 ○業務 ○財務 ○人事				
事務事業名	芸術文化・地域振興事業（芸術文化振興財団費）		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田		
			担当者名	池田	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-02-02	ほっとたうん発行（財団運営費）						
	01-02-03	芸術文化・地域振興事業費						
事務事業の種類	○新規事業（○5年度 ○4年度）		○建設事業	●それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 63	（ 1988 ）	年度	根拠				
終期設定	●有 ○無		令和 7	（ 2025 ）	年度	法令等		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	サンパール荒川、日暮里サニーホール、ムーブ町屋などの区民ホールで、芸術文化事業を公演することにより、荒川区における芸術文化の振興と区民文化の活性化を図る。							
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団(ACC)（H24.4.1公益財団法人に移行し名称変更）							
内容	芸術文化振興財団事業のうち、芸術文化及び地域の振興に関する事業への補助である。 [定期事業] 荒川区民交響楽団・第九演奏会、都電写真コンテスト 等 [その他事業実績等] ・29年度 ARAKAWAクラシックBOX、山内恵介熱唱ライブ・春、夏休みはエンゲキ「ルドルフとイッパイアッテナ」 等 ・30年度 ACC30周年記念事業「ウィーン少年合唱団」、「東京スカパラダイスオーケストラ」等 ・元年度 神田松之丞独演会、南こうせつコンサート、篠崎史紀ヴァイオリン・リサイタル 等 ・2年度 神田伯山独演会、TSUKEMENコンサート、JAZZ in ARAKAWA vol.12 等 ・3年度 春風亭小朝と清水ミチコの大演芸会、鼓童交流公演、 JAZZ in ARAKAWA vol.13 等 ・4年度 南こうせつコンサート、春風亭一之輔独演会、JAZZ in ARAKAWA 等							
経過	平成24年度：公益財団法人に移行し名称変更(H24.4.1) 区民課にて施設使用料のみ負担（附帯設備はACCの負担） ARAKAWA1-1-1 ギャラリー開設(H24.6.1) 平成25年度：教育委員会との連携事業を実施 （汐入小学校にて授業内で能楽体験・全中学生を対象に文楽の鑑賞会） 平成26年度：自主事業で子ども向け演劇ワークショップを実施 平成27年度：サンパール荒川改修工事のため、事業について日暮里サニーホール等の施設を活用 平成30年度：ACC設立30周年記念事業を実施 令和元年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月公演事業を中止 令和2～4年度：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を多数中止							
必要性	荒川区芸術文化振興財団の最も重要な使命である芸術文化事業実施のための補助であり必要性は高い。							
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤職員 ○会計年度任用職員） 補助金の交付							
指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	チケット収入率(%)	36.9	37.3	43.3	46.1	50	自主事業収入額÷支出額
	②	芸術文化・地域振興事業数	25	45	54	64	65	
③	芸術文化・地域振興事業来場者数	15,784	19,178	33,259	41,595	55,000		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度		6年度						
推進	推進	ACCの設立趣旨である「荒川区における芸術文化の振興を図り、地域社会の発展と区民生活の向上に資する」ため、推進する。						

予算・決算額等の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
予算額		54,534	54,534	55,368	54,617	53,576	52,818	48,760
決算額(5年度は見込み)		35,764	37,347	32,637	22,035	26,805	31,512	48,760
実績の推移		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
事項名(5年度は見込み)								
チケット収入率(%)		42.6	51.1	46.6	36.9	37.3	43.3	46.1
参加・体験型事業件数		21	22	22	10	13	17	21
芸術文化・地域振興事業来場者数		42,241	44,950	38,734	15,784	19,178	33,259	41,595

予算・決算の内訳								
令和3年度(決算)			令和4年度(決算)			令和5年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	ほっとタウン発行(財団運営費)	7,020	負担金補助等	ほっとタウン発行(財団運営費)	7,253	負担金補助等	ほっとタウン発行(財団運営費)	8,774
負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	19,785	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	24,259	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	39,986

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	441	439	▲2	地方税等	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	26,805	31,512	4,707	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	63	25	▲38	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲27,309	▲31,976	▲4,667
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	27,309	31,976	4,667	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲27,309	▲31,976	▲4,667
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲27,309	▲31,976	▲4,667

備考 行政費用では、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳は、広報誌発行費、芸術文化・地域振興事業費である。新型コロナウイルス感染症対策に係る制限緩和の影響により、実施できた事業が多かったため、補助費が増加した。

問題点・課題 ①伝統文化指導者派遣事業については、学校規模に合わせた活用方法を検討していく必要がある。
②荒川区の芸術文化振興をさらに促進するため、区民や団体の活動支援、区の将来を担う子どもたちを中心とした人材育成に貢献する事業を推進する必要がある。
③感染症の各種制限が撤廃される中で、より活発に事業を展開していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	指導者派遣事業に限らず参加型の事業については実施可能な方法を模索していく。	指導者派遣事業に加え、邦楽鑑賞事業を実施した。	学校や各団体の意見を取り入れつつ、引き続き事業を推進していく。
②	新しい生活様式への対応を改善しながら実施し、芸術文化振興のための人材育成に資する事業を推進する。	コロナ禍において一部事業の中止はあったものの、感染症対策のもと参加型も含めて事業を行うことができた。	感染症の各種制限が撤廃される中で、コロナ禍以前の規模での事業実施を目指す。
③	ガイドラインの遵守及び感染対策を徹底しつつ、可能な限り事業やイベントの実施に努めていく。	会場の定員制限が緩和される中、感染状況を踏まえ、可能な限り事業を実施した。	活発に事業を展開するとともに、HPやツイッター等で効果的な周知を行うことで、多くの来場者の確保に努める。

他区の実況	(実施 18 区 未実施 0 区 不明 4 区)
-------	--------------------------

議会要旨 平成25年度予特 区民ミュージカル事業の推進について
平成25年度決特 事業内容の把握と価値ある事業について
平成26年度決特 「アーティストバンク」の拡充について

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-12	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	区民会館費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田		
		担当者名	齊藤	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	区民会館管理運営費					
	01-02-01	営繕費（計画工事）					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	昭和 49（ 1974 ）年度	根拠	荒川区民会館条例及び条例施行規則				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無（ ）年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術文化の振興				
目的	荒川区民会館を広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。						
対象者等	区民及び施設利用者						
内容	<p>名称 荒川区民会館（愛称 サンパール荒川〔昭和56年度区民公募〕）</p> <p>所在地 荒川区荒川1-1-1 電話 03-3806-6531</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時まで</p> <p>休館日 年末年始（12月29日から1月3日）</p> <p>構造・規模 SRC造 地下1階、地上6階 延床面積10,044.09㎡</p> <p>施設の概要 1F：大ホール（975席、1161.88㎡） 2F：ラウンジ・ギャラリー・街なか図書館</p> <p>3F：小ホール（移動席300席、281.09㎡）</p> <p>4F：第1集会室（洋室50名）、第2集会室（洋室50名）、第3集会室（洋室50名）、第4集会室（和室40名）</p> <p>5F：第5集会室（洋室50名）、第6集会室（洋室50名）、第7集会室（洋室100名） 6F：研修室等</p>						
経過	<p>昭和50年 3月28日 荒川区民会館オープン（昭和50年3月26日 供用開始）</p> <p>平成 2年 4月 1日 財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託</p> <p>平成 4年 4月 1日 改修工事のため休館（同年10月31日まで）</p> <p>平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入によりMKT共同事業体による管理開始（平成21年度更新）</p> <p>平成18年 7月 5日 レストランモアにレストラン運営の行政財産使用許可を開始</p> <p>平成22年 8月 2日 結婚式場と控室を廃止し、社会教育課が荒川コミュニティカレッジとして使用開始</p> <p>平成24年 4月 1日 指定管理者公募により、MKT共同事業体による管理開始（平成27年度更新）</p> <p>平成24年 6月 1日 荒川区芸術文化振興財団（ACC）の分室（ARAKAWA1-1-1ギャラリー）が開設</p> <p>平成28年 4月 1日 平成27年度に1年間休館で実施した大規模改修が終了し、リニューアルオープン</p> <p>平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、(株)ケイミックスパブリックビジネスによる管理開始</p> <p>令和 5年 4月 1日 2階レストランの営業終了に伴い、ラウンジとしての活用を開始</p>						
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。						
実施方法	<p>（ 3委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ）</p> <p>指定管理者：（株）ケイミックスパブリックビジネス</p> <p>指定管理料：R2決算129,497,934円、R3決算146,131,663円。R4決算150,257,726円</p>						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
	① 荒川区民会館利用人数	62,615	159,489	209,948	220,000	250,000	年間利用者数
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
5年度	6年度						
推進	推進	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図り、芸術文化を発信するための拠点として設けられた施設であるため、推進する。					

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	188,297	204,326	182,695	282,597	207,350	218,729	245,223	
決算額（5年度は見込み）	168,414	185,606	176,280	246,369	178,555	191,541	245,223	
実績の推移	事項名（5年度は見込み）	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	大ホール貸出稼働率（%）	62.4	60.7	58.1	24.3	66.1	80.9	85
	小ホール貸出稼働率（%）	55.3	59.6	57.0	31.4	55.7	65.3	70
	集会室貸出稼働率（%）	40.6	42.4	40.1	19.7	58.6	55.9	55

予算・決算の内訳								
令和3年度（決算）			令和4年度（決算）			令和5年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	実績評価委員会報酬	60	報償費	実績評価委員会等報酬	410	報償費	実績評価委員会等報酬	121
需用費	感染症対策物品	279	需用費	実績評価委員会等賄外	333	需用費	コロナ対策用衛生資材等	785
委託料	指定管理者委託料外	177,621	委託料	指定管理者委託料外	174,058	委託料	指定管理者委託料等	229,204
使用料	AEDリース料	69	使用料	AEDリース料	69	役務費	無線LAN利用料等	641
備品購入費	指定管理者対応備品	526	備品購入費	指定管理者対応備品	672	使用料	AEDリース料	69
			役務費	無線LAN利用料	159	備品購入費	指定管理者対応備品等	1,403
			工事請負費	屋上防水工事費	15,840	工事請負費	動力盤改修工事	13,000

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	8,376	7,021	▲ 1,355	地方税等	0	0	0
	物件費	178,495	175,291	▲ 3,204	国庫支出金	0	282	282
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	60	410	350	使用料及び手数料	989	1,571	582
	減価償却費	1,258	582	▲ 676	その他	15,045	13,282	▲ 1,763
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	16,034	15,135	▲ 899
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,204	402	▲ 802	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 173,359	▲ 168,571	4,788
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 3,024	▲ 2,764	260
	行政費用合計(b)	189,393	183,706	▲ 5,687	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 176,383	▲ 171,335	5,048
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 176,383	▲ 171,335	5,048

備考

物件費の主な内訳は指定管理者委託料である。行政収入のその他は、指定管理者からの利益納付金（収支差額の1/2）等であり、利用料金収入の増に伴い前年度比増となっている。

問題点・課題

- ①利用者ニーズに柔軟に対応できるように、指定管理者と連携を図っていく。
- ②施設の老朽化を踏まえ、適切に点検及び修繕を行いつつ、長期保全を図っていく必要がある。
- ③敷地の一部が東京都市計画道路補助線街路第90号線の予定地であるため、今後の施設運営への影響を最小限にするため、関係機関と調整していく必要がある。
- ④引き続き、さまざまな事業等を通し、身近な場所で芸術・文化に親しむことができる環境を整えていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、感染防止対策を徹底しながら安全な施設運営を図るとともに、区民が文化にふれる機会の創出に努める。	適切に感染対策を実施することで安全に利用いただける環境を整え、利用促進を図った。	サービスの充実により、さらなる利用促進を図るとともに、事業充実により芸術文化の振興を図っていく。
②	引き続き、計画的に適切な保守・修繕を実施する。 屋上防水工事を早期に実施し、施設の保全を図る。	計画的な保守・修繕により施設の長寿命化を図った。屋上防水工事について、安全に実施・完了し、庭園のリニューアルを図った。	点検等の保守管理を適切に実施するとともに、状況にあわせた設備等の更新を行う。
③	引き続き、東京都市計画道路補助線街路第90号線整備事業について、施設への影響を踏まえた対応を調整する。	代替駐輪場等の整備について、検討を進める。	様々な公演の実施に向け、指定管理者等と連携しながら、区民が身近な場所で芸術・文化に親しむことができる環境を整える。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議会要旨	平成26年予特 平成27年度9月会議 平成28年決特 令和2年度9月会議	「ケータリングの導入検討について」 「荒川区民会館の長寿命化について」 「ケータリングの利用方法について」 「休業日の取扱いについて」 「サンパル荒川の今後の在り方について」
------	-----------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-13		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	日暮里サニーホール費		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	須田	
			担当者名	池田		内線	2523	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	日暮里サニーホール管理運営費						
	01-01-02	日暮里サニーホール共用部分等修繕						
	01-02-01	営繕費（計画工事）						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 元（ 1989 ）年度	根拠	日暮里サニーホール条例及び条例施行規則					
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無（ ）年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画		<input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	日暮里サニーホールを広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>名称 日暮里サニーホール</p> <p>所在地 荒川区東日暮里5-50-5ホテルラングウッド4・5階 電話 03-3807-3211</p> <p>開館時間 午前9時から午後10時まで（受付は午後8時まで）</p> <p>休館日 年末年始（12月29日から1月3日）</p> <p>構造・規模 SRC造 地上13階、地下3階の内、4・5階部分 延床面積 2,311.28㎡</p> <p>施設の概要 多目的ホール 収容人員500名（フラット時）／面積404㎡ コンサートサロン 収容人員100名（フラット時）／面積113㎡ 会議室 第1会議室 収容人員24名（面積57㎡） 第2会議室 収容人員12名（面積25㎡） 第3会議室 収容人員12名（面積28㎡） ※第2,3会議室は通し使用可能</p>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年 2月 9日 日暮里サニーホールオープン（財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託） ・平成15年 4月 1日 受付、舞台機構管理等の各業務の再委託を行い、大幅な経費の削減を図った。 ・平成16年11月30日 （財）中央労働福祉センター解散。（株）三菱UFJ信託銀行が区と覚書を取交し、財団の業務を引継ぐ。 ・平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入により（株）シービーシーメソッドによる管理開始 年末年始の休館日を8日間から6日間に短縮 ・平成21年 4月 1日 指定管理者更新により、引続き（株）シービーシーメソッドによる管理開始 ・平成24年 4月 1日 指定管理者の公募により、日暮里サニーホールさくらグループによる管理開始（平成27年度更新） ・平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、（株）コングレによる管理開始 							
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。							
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） 指定管理者：（株）コングレ 指定管理料：R2決算33,250,000円、R3決算56,330,847円、R4決算49,454,825円							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	サニーホール利用人数（人）	17,149	47,387	63,054	90,000	145,000	年間利用人数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度	6年度							
継続	継続	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための施設であるため、継続して実施する。						

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	71,522	88,882	68,250	123,597	137,622	110,487	151,517	
決算額 (5年度は見込み)	61,955	85,206	67,950	98,946	114,057	63,352	151,517	
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	多目的ホール貸出稼働率	68.6	65.2	62.7	9.7	31.8	52.0	70.0
	コンサートサロン貸出稼働率	90.4	93.9	87.5	21.3	57.5	79.0	85.0
	会議室貸出稼働率	72.1	68.2	69.7	18.8	28.1	44.7	60.0

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
委託料	指定管理委託料等	90,808	委託料	指定管理委託料等	52,565	委託料	指定管理委託料等	72,066
使用料等	日暮里駅前駐輪場サービス券外	36	負担金補助等	駐車場建物管理業務経費等	9,051	負担金補助等	駐車場建物管理業務経費等	18,690
備品購入費	指定管理者対応備品	275	役務費	無線LAN利用料	193	役務費	無線LAN利用料	584
負担金補助等	ラングウッド 駐車場建物管理業務経費等	7,299	需用費	災害対策用備蓄、衛生資材	218	需用費	衛生資材	335
負担金補助等	ラングウッド 共用部分工事費	4,570	備品購入費	指定管理者対応備品	336	備品購入費	指定管理者対応備品	500
需用費	消耗品購入契約	69	使用量及び賃借料	日暮里駅前駐輪場サービス券等	44	使用料及び賃借料	日暮里駅前駐輪場サービス券等	42
需用費	音響設備修繕費	11,000	工事請負費	防犯カメラ等設置工事	945	工事請負費	ホール改修工事	59,300

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	4,849	7,021	2,172	地方税等	0	0	0
	物件費	91,188	53,356	▲ 37,832	国庫支出金	0	92	92
	維持補修費	11,000	0	▲ 11,000	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	11,869	9,051	▲ 2,818	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	36,010	36,010	0	その他	4,874	36,044	31,170
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	4,874	36,136	31,262
	賞与・退職給与引当金繰入額	697	402	▲ 295	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 150,739	▲ 70,649	80,090
	その他行政費用	0	945	945	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	155,613	106,785	▲ 48,828	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 150,739	▲ 70,649	80,090
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 150,739	▲ 70,649	80,090

備考 物件費の主な内訳は指定管理者委託料である。物件費の差額は稼働率が上昇したことにより、新型コロナウイルス感染症による減収補填相当分が前年度より減額したことが主な要因である。その他行政費用は防犯カメラ等設置の工事費である。行政収入のその他は、前年度の指定管理料返還金に伴う収入等である。

問題点・課題
 ①利用者ニーズに柔軟に対応できるように、指定管理者と連携を図っていく。
 ②施設の老朽化を踏まえ、定期的な点検及び必要な修繕を行いつつ、複合施設であることから、施設のホール改修工事等の際には、ホテルラングウッドとの綿密な調整・連携が必要である。
 ③地域の賑わい創出及び利用者の拡大を図るため、自主事業等の積極的な企画・実施が求められる。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	感染防止対策を徹底しながら安全な施設運営を図るとともに、区民が文化に触れる機会の創出に努める。	感染防止対策を徹底しつつ、区民が文化に触れる機会の創出や催事に向けて利用者の意向を汲む等のサポートを行った。	利用者からの意見を取り入れ、利用者のニーズに対応した管理・運営を行う。
②	施設の老朽化への対応として、ホールの改修工事について、関係各所と調整の上、計画を進めていく。	R5・R6年実施予定のホール改修工事について、関係各所と調整の上、計画を進めた。	R6年実施予定のホール改修工事についての計画や施工に向けての調整を関係各所と綿密に行う。
③			施設稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みを指定管理者と協議・検討していく。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議会要旨	

事務事業分析シート（令和5年度）

No1

事務事業コード	05-01-14	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	ムーブ町屋費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田			
		担当者名	池田	内線	2523			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（5年度）	01-01-01	ムーブ町屋管理運営費						
	01-02-01	営繕費（計画工事）						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 5年度 <input type="radio"/> 4年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業			
開始年度	平成 8（1996）年度	根拠	荒川区ムーブ町屋条例及び条例施行規則					
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	ムーブ町屋を広く区民の利用に供するとともに、利用者に対するサービス向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。							
対象者等	区民及び施設利用者							
内容	<p>名称 ムーブ町屋 所在地 荒川区荒川7-50-9センターまちや3・4階 電話3819-7761 開館時間 午前9時から午後10時（受付は午後8時） 休館日 年末年始（12月29日から1月3日） 構造・規模 SRC造 地上22階、地下2階の内、3・4階部分 延床面積2797.17㎡ 施設の概要 多目的ホール 収容人員296席／面積230㎡（舞台、電動式椅子を収納した場合） 会議室 収容人員28名（椅子のみ使用時は40名）／面積70㎡ スタジオ 収容人員10名程度／面積51㎡</p>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 8年 6月 1日 ムーブ町屋オープン（財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託） ・平成17年10月 3日 JOBコーナー町屋開設 ・平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入により(株)シー・シー・シットによる管理開始 ・平成21年 4月 1日 指定管理者更新により、引続き(株)シー・シー・シットによる管理開始 ・平成24年 4月 1日 指定管理者の公募により、ムーブ町屋さくらグループによる管理開始 就労支援課の執務スペースを設置 ・平成25年 4月 1日 くつろぎ広場の一部をJOBコーナー町屋の若者向け相談スペースとして使用開始 ・平成27年 4月 1日 指定管理者更新により、引続きムーブ町屋さくらグループによる管理開始 ・平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、(株)コングレによる管理開始 ・令和5年 4月 1日 町屋区民事務所移転（5年10月10日開所予定）により、ハイビジョンルーム及びギャラリーの廃止、「ミニギャラリー（会議室B）」を「会議室」に名称変更 							
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る上で拠点として設けられた施設であり、区内の中心部にある施設として、数多くの団体に利用されており、必要性は高い。							
実施方法	（3委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） 指定管理者：(株)コングレ 指定管理料：R2決算34,643,000円、R3決算41,349,992円、R4決算40,445,982円							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			2年度	3年度	4年度	5年度見込み		目標値(8年度)
	①	ムーブ町屋利用人数（人）	6,920	72,444	47,178	75,000	80,000	年間利用人数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
5年度	6年度							
継続	継続	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図るための施設であるため、継続して実施する。						

予算・決算額等の推移	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
予算額	111,002	125,950	108,668	125,892	123,674	154,478	236,629	
決算額 (5年度は見込み)	93,231	105,683	102,156	107,108	114,581	125,901	236,629	
実績の推移	事項名 (5年度は見込み)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
	多目的ホール貸出稼働率	64.1	56.2	61.4	12.1	32.6	57.0	70.0
	会議室A・B貸出稼働率	62.4	58.2	57.6	14.6	62.0	41.4	65.0
	スタジオ貸出稼働率	77.5	71.6	70.8	12.0	59.9	45.7	65.0
	ギャラリー貸出稼働率	52.9	36.0	26.0	4.2	54.1	20.0	0

予算・決算の内訳								
令和3年度 (決算)			令和4年度 (決算)			令和5年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
委託料	指定管理委託料等	59,035	負担金補助等	管理規約に基づく分担金等	59,159	負担金補助等	管理規約に基づく分担金	52,213
使用料等	AEDリース料	23	委託料	指定管理委託料等	42,726	委託料	指定管理委託料等	47,259
備品購入費	指定管理対応備品	479	役務費	無線LAN利用料	156	役務費	無線LAN利用料	526
負担金補助等	管理規約に基づく分担金等	54,655	需用費	災害対策用備蓄、衛生資材	1,772	需用費	衛生資材	191
需用費	消耗品購入契約等	389	備品購入費	指定管理対応備品	278	備品購入費	指定管理対応備品	500
			工事請負費	ホール改修工事	21,787	工事請負費	ホール改修工事	135,917
			使用料等	AEDリース料	23	使用料等	AEDリース料	23

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
行政費用	給与関係費	4,849	7,021	2,172	地方税等	0	0	0
	物件費	59,628	43,457	▲ 16,171	国庫支出金	0	45	45
	維持補修費	298	1,497	1,199	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	54,655	59,159	4,504	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	91,001	91,001	0	その他	38	16,053	16,015
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	38	16,098	16,060
	賞与・退職給与引当金繰入額	697	402	▲ 295	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 211,090	▲ 186,439	24,651
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	211,128	202,537	▲ 8,591	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 211,090	▲ 186,439	24,651
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 211,090	▲ 186,439	24,651

備考 物件費の主な内訳は指定管理者委託料である。物件費の差額は、稼働率が上昇したことにより、新型コロナウイルス感染症による減収補填相当分が前年度より減額したことが主な要因である。行政収入のその他は、前年度の指定管理料返還金に伴う収入等である。

問題点・課題
 ①利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、指定管理者と連携を図っていく。
 ②施設の老朽化を踏まえ、定期的な点検及び必要な修繕を行いつつ、複合施設であることから、施設の改修工事等の際には、センターまちや管理組合との調整・連携が必要である。
 ③町屋区民事務所の開所に向けての関係各所との連携、及び工事による施設休館後の利用再開に向けての準備・運営について、指定管理者との連携を図る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和4年度に取り組む具体的な改善内容	令和4年度に実施した改善内容および評価	令和5年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	感染防止対策を徹底しながら安全な施設運営を図るとともに、区民が文化に触れる機会の創出に日々努める。	感染防止対策を徹底しながら安全な施設運営を図るとともに、区民が文化に触れる機会の創出に日々努めた。	利用者からの意見を取り入れ、利用者のニーズに対応した管理・運営を行う。
②	ホール等の改修工事の内容について、関係各所との綿密な打ち合わせを通じて、検討・調整を進める。	ホール等の改修工事の内容について、関係各所との綿密な打ち合わせを通じて、検討・調整を進めた。	ホール等改修工事について、関係各所と適宜かつ綿密に連携を図り、円滑に工事を進める。
③	区民事務所移転整備について関係各所との調整・連携を図る。	区民事務所移転整備について関係各所との調整・連携を綿密に行った。	区民事務所移転・開所及び施設の利用再開に向けて関係各所との調整・連携を綿密に行う。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議会(要旨)質問状	